

熊本県内 ラジオ6局 共同制作番組

「2017 防災・命のラジオ」

今年も、熊本県内のラジオ局（NHK、AM、FM、コミュニティFM）にて、9月1日（金）に共同制作番組「2017 防災・命のラジオ」が同時生放送されます。
通算21回目（21年目）です。

◆企画意図

「防災・命のラジオ」は、NHKと熊本市に本社をおくRKK、FMK、FM791の民放ラジオ3局が共同して、災害時に確実な情報を迅速に伝えるラジオならではの役割および特徴を認識してもらおうと、1997年から9月1日の「防災の日」を中心に同時生放送してきました。9回目からは八代市のかっぱFM、小国町のグリーンポケットの2局を加え、熊本県内のラジオ局をすべてネットしての放送となりました。

今回は、NHK熊本放送局をキーステーションに、テーマは、「命を守るまちづくりを～熊本地震からの挑戦～」。熊本地震から1年5か月。復旧・復興は今も続く。さらに各地で相次ぐ豪雨災害。私たちは、頻発する自然災害からどんな教訓を得て、いざというときに備えて、普段どんなまちづくりをすればいいのか。各放送局が制作したレポートをもとに専門家と共に考えていきます。

そして、番組は、インターネットでも聴けます。NHK熊本放送局は、らじるらじるNHKネットラジオ、RKK（AM）・FMK（FM）はrajiko、FM791熊本シティエフエム・かっぱFMエフエムやつしろは、JCB Aサイマルラジオでお聴きいただけます。

◆タイトル：「2017 防災・命のラジオ」

◆放送日時：9月1日（金） 防災の日
午後0時10分～13時00分（NHKは午後0時20分～）同時生放送

◆参加局：NHK熊本放送局：制作幹事局、RKK熊本放送、FMKエフエム熊本、FM791熊本シティエフエム、かっぱFMエフエムやつしろ、グリーンポケットFM小国（県内のラジオ全6局 共同制作）

◆メインキャスター：石井隆弘アナウンサー（NHK熊本放送局）

◆テーマ：「命を守るまちづくりを～熊本地震からの挑戦～」

◆ゲスト：熊本大学 政策創造研究教育センター 田中尚人（たなかなおと）准教授

◆内容：熊本地震を教訓に学校と地域が一体となって防災に取り組む事例や、タブレット端末を使った新たな防災訓練の取り組み、いざというときのために必要な地域のコミュニティ作りなど、各局からの報告をもとにスタジオでゲストとともに熊本地震後にこそ必要なまちづくりを考えていく。

◆キーステーション：NHK熊本放送局 ラジオスタジオ

◆リポーター：糸永有希（RKKアナウンサー）、岐部俊夫（FMK）、高智穂さくら（FM791パーソナリティ）

◆スポンサー：NTT西日本熊本支店、九州電力、熊本日日新聞社、西部ガス、
全国共済農業組合連合会熊本県本部、鶴屋百貨店
※NHKは、CMを防災一口メモと差し替えて放送

◆広告代理店：電通九州熊本支社

◆お問い合わせ：FM791営業部 部長 長生修
TEL096-323-6611
FAX096-323-6622